

先進地から学ぶ

議会運営全般について 議会運営委員会 研修報告

一般質問の 回数制限なし

日程 7月21日から22日
研修先 福岡県糸島郡志摩町
人口 1万7000人、志摩町は平成22年1月1日1市2町で合併することが決定している。志摩町は福岡県の最西部に位置し、面積54・55km²。一般会計予算56億9000万円、議員数は現員12名、町職員114名、会議時間は午前9時30分から午後5時。常任委員会は2委員会、総務文教厚生委員会、産業建設委員



生委員会、産業建設委員会、各6名で委員会の任期は4年。議会運営委員会は委員長2名と副議長及び各委員会から2名の5名。予算決算はそれぞれ予算特別委員会と決算審査特別委員会を議員全員で構成し審議しており、一般質問は答弁も含めて50分、質問回数は特に制限は無い。議会広報は町の広報誌の中に一緒に印刷。経費を節減している様であった。

合併に関しては、志摩町、二丈町、前原市の1市2町で合併「糸島市」が誕生することに決定。

人口が10万人になり新たな出発を迎える。

佐賀県嬉野市 執行部からの 反問もできる

人口 2万9200人、平成17年に塩田町と合併し、嬉野市となり4年目、面積126・51km²。嬉野茶と肥前吉田焼が有名。一般会計予算は111億6000万円、議員定数現員21名、常任委員会は3委員会、総務企画委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会、任期は2年、議会運営委員会は6

名で、任期は2年。一般質問は答弁も含めて90分。議員の質問に対しての執行部からの議員への反問もできること。

議会基本条例について

嬉野市議会では、積極的な情報公開、議会活動への市民参加、行政機関との緊張の保持、議員の自己研鑽と資質の向上と公平性と透明性の確保等市民の負託に応える議会を築く為に、この条例を制定したとの事。年に1回22名の議員が3班に分かれて市民への議会報告会を開いて行きたいとの事。議員間の勉強、政策討論、能力、市民参加の推進、公平性、透明性の確保に繋がっていくとの説明であった。

両市町の議会運営を学び、たいへん参考になった。特に議会基本条例の制定の動きは全国の議会でも急速に広がっており、大津町議会でも、取り組んで行くべきではないかと感じた。

継 続

審議しました

あなたの

請願・陳情

◎浸透枿調整池の建設に

関する陳情

陳情者 高尾野区長

古庄 廣美

◎教育予算の拡充を求める
意見書の提出を

求める請願

樋口 利恵